

|              |   |
|--------------|---|
| Title        | 臨床死生学・老年行動学研究分野 活動報告  |
| Author(s)    |   |
| Citation     | 生老病死の行動科学. 2019, 23, p. 61-67   |
| Version Type | VoR   |
| URL          | <a href="https://hdl.handle.net/11094/73621">https://hdl.handle.net/11094/73621</a> |
| rights       |   |
| Note         |   |

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 臨床死生学・老年行動学分野 活動報告

### 1. 研究会報告

本研究室では、月1回中之島キャンパスにて研究会を開催している。  
平成30年度は、下記の通り、7回研究会を開催した。

第55回 2018年4月11日

話題提供者 蓮花 一己（帝塚山大学）

テーマ 高齢ドライバーの交通事故の実態と運転行動

第56回 2018年5月9日

話題提供者 二瓶 美里（東京大学）

テーマ 高齢者の生活を支援するジェロンテクノロジー

第57回 2018年6月13日

話題提供者 山川 みやえ（大阪大学）

テーマ 認知症当事者の気持ちをつなぐ多職種連携とまちづくり

第58回 2018年7月4日

話題提供者 中川 威（国立長寿医療研究センター）

テーマ 高齢期における幸福感の変化：縦断研究の魅力

第59回 2018年10月3日

話題提供者 楠見 孝（京都大学）

テーマ 高齢者における懐かしさと時間的展望

第60回 2018年11月7日

話題提供者 岩原 昭彦（京都女子大学）

テーマ ライフスタイルと認知の予備力

第61回 2018年12月5日

話題提供者 小川 敬之（京都橘大学）

テーマ ひとつ：少子高齢化・認知症・働くこと・生きる事

## 2. 学位論文一覧

平成 30 年度は、下記の通り、学部生 2 名、博士後期課程の者 2 名が学位論文を提出した。

### 卒業論文

高齢者との交流経験が高齢者イメージに与える影響  
についての検討 土谷 曜子

高齢者がインターネット利用において用いる機種と  
活用度の関連 保田 明日美

### 博士論文

心理学的「知恵」概念の検討 春日 彩花

認知症疾患診断のための認知機能評価法の検討 鈴木 則夫

### 3. 業績一覧

以下は、本研究室の教員，研究員，および大学院生による，平成 29 年（平成 29 年 1 月～12 月）の業績一覧である。いずれも第一著者の姓のアルファベット順に記載されており，下線部は本研究室の構成員であることを示す。

#### 【著書】

権藤 恭之. (2018). 老化・長寿に関する疫学研究 (2) 健康長寿研究 (SONIC) からの研究老年医学 (上) ——基礎・臨床研究の最新動向—— 日本臨牀第 76 巻増刊号 (通巻第 1144 号) 200-204.

権藤 恭之. (2018). 生活の質や人生の価値の測定と評価 鈴木 伸一 (編) 健康心理学の測定法・アセスメント ナカニシヤ出版 173-192.

中里 和弘・舞鶴 史絵・鈴木 真智子・佐藤 眞一. (2018). 在宅がん患者と家族に対する心理支援とその意義 福尾 恵介 (編) 『在宅がん患者の栄養サポートに精通した在宅医療福祉従事者の全国的育成システムの開発 症例テキスト』厚生労働科学研究費補助金 がん対策推進総合研究事業 29-39.

佐藤 眞一. (2018). 『認知症の人の心の中はどうなっているのか?』光文社新書.

佐藤 眞一. (2018). 『シリーズ心理学と仕事 第 6 巻 高齢者心理学』太田 信夫 (監) 佐藤 眞一 (編) 北大路書房.

(執筆者: 佐藤 眞一 (第 1 章) 中原 純・豊島 彩 (第 2 章) 片桐 恵子・石岡 良子 (第 3 章) 権藤 恭之・田淵 恵 (第 4 章) 増本 康平・塩崎 麻里子 (第 5 章) 島内 晶・大庭 輝 (第 6 章)).

佐藤 眞一. (2018). 老年心理学研究の新展開 松田 修 (編) 『最新老年心理学——老年精神医学に求められる心理学とは——』ワールドプランニング 1-13

佐藤 眞一. (2018). 認知症に正しく対処するための 10 のケーススタディ 洋泉社 MOOK 『認知症と笑顔で暮らす本』洋泉社 28-42..

#### 【学術論文】

Ambridge,B., Barak,L., Wonnacott,E., Bannard,C., Sala,G. (2018). Effects of both preemption and entrenchment in the retreat from verb overgeneralization errors: Four reanalyses, an extended replication, and a meta-analytic synthesis, *Collabra: Psychology*, 4, 23.

権藤 恭之. (2018). 心理的加齢と脳の加齢の加齢 老年精神医学雑誌, 29, 742-748.

権藤 恭之. (2018). 高齢者の「こころ」と「からだ」の健康に関する要因の探索——SONIC 研究の成果から—— 心身医学, 58, 397-402.

Ikebe,K., Gondo,Y., Kamide,K., Masui,Y., Ishizaki,T.Arai, Y., Inagaki, H., Nakagawa, T., Kabayama, M., Ryuno, H., Okubo, H., Takeshita, H., Inomata, C., Kurushima, Y., Mihara, Y., Hatta., K., Fukutake, M., Enoki, K., Ogawa, T., Matsuta, KI, Sugimoto, K., Oguro, R.,

- Takami, Y., Itoh, N., Takeya, Y., Yamamoto, K., Rakugi, H., Murakami, S., Kitamura, M., Maeda, Y. (2018) . Occlusal force is correlated with cognitive function directly as well as indirectly via food intake in community-dwelling older Japanese: From the SONIC study. *PLoS ONE*, *13*(1), e0190741.
- 春日 彩花・佐藤 眞一・Takahashi Masami. (印刷中) . 知恵は発達するか——成人後期における知恵の機能的側面と構造的側面の検討—— 心理学評論.
- Nakazato, K., Shiozaki, M., Hirai, K., Morita, Y., Tatara, R., Ichihara, K., Sato, S., Simizu, M., Tuneto, T., Shima, Y., & Miyasita, M. (2018) . Verbal communication of families with cancer patients at end of life: A questionnaire survey with bereaved family members. *Psycho-Oncology*, *27*, 155-162.
- 中里 和弘・塩崎 麻里子・平井 啓・森田 達也・多田 羅 竜平・市原 香織・佐藤 眞一・清水 恵・恒藤 暁・志摩 泰夫・宮下 光令. (2018) . ホスピス・緩和ケア病棟における患者と家族間の思いの言語化を支える家族支援——遺族調査による家族支援と「患者と家族との良好な関係性」および「ケアの全般的満足度」との関連性の検討—— *Palliative Care Research*, *13* (3) , 263-271.
- Nakagawa, T., Jopp, D. S., Gondo, Y., Lehrfeld, J., Rott, C., & Oswald, F. (2018) . Valuation of life among old and very old adults: Comparison between Germany and Japan. *Innovation in Aging*, *2* (2) , 1-10.
- Oba, H., Sato, S., Kazui, H., Nitta, Y., Nashitani, T., & Kamiyama, A (2018) . Conversational assessment of cognitive dysfunction among residents living in long-term care facilities. *International Psychogeriatrics*, *30*, 87-94.
- Sala, G., & Gobet, F. (in press) . Cognitive training does not enhance general cognition. *Trends in Cognitive Sciences*.
- Sala, G., Tatlidil, K. S., & Gobet, F. (2018) . Video game training does not enhance cognitive ability: A comprehensive meta-analytic investigation. *Psychological Bulletin* *144*, 111-139.
- Satake, S., Shimada, H., Yamada, M., Kim, H., Yoshida, H., Gondo, Y., Matsubayashi, K., matsushita, E., Kuzuya, M., Kozaki, K., Sugimoto, K., Senda, K., sakuma, M., Endo, N., & Arai, H. (2018) . Prevalence of frailty among community-dwellers and outpatients in Japan as defined by the Japanese version of the Cardiovascular Health Study criteria. *Geriatrics Gerontology International*, doi: 10.1111/ggi.13258.
- Toyoshima, A., & Sato, S. (2018) . Examination of the effect of preference for solitude on subjective well-being and developmental change. *Journal of Adult Development*, doi.org/10.1007/s10804-018-9307-z.
- 吉田 甫・高山 緑・高橋 雅延・竹内 光・土田 宣明・佐藤 眞一. (2018) . 加齢に伴い向上・維持する能力を発掘する 教育心理学年報, *57*, 329-349.

## 【報告書】

権藤 恭之・増井 幸恵. (2018). 嗜好品の継続摂取が高齢者の心身の機能に与える影響に関する縦断的検討平成 29 年度 公益財団法人 たばこ総合研究センター 助成研究報告 40-58.

## 【学会発表】

藤田 邦子・柴田 千穂・鈴木 則夫. (2018). 数概念は保たれている一方で計数に障害がみられた 1 例 第 42 回日本神経心理学会, 山形.

権藤 恭之・須田 木綿子・松岡 千代. (2018). 老年社会科学研究のための研究倫理 日本老年社会科学会第 60 回大会, 東京.

権藤 恭之・鈴木 宏幸・宇良 千秋・目黒 謙一. (2018). 「古い」と生きる——長寿社会における「老いる」ことの意味と共生を考える—— 日本発達心理学会第 29 回大会, 宮城.

Gondo, Y., Masui, Y., Inagaki, H., Ishioka, Y., & Nakagawa, T., Yasumoto, S. (2018). Defining successful aging based on the oldest-old. U.S. - Hong Kong 2018 Conference: Aging across Time and Contexts, Hong Kong, Hong Kong.

権藤 恭之・安元 佐織・藤原 佳典. (2018). 超高齢社会における生きがいと健康——就労・地域参加を考える—— 日本健康心理学会第 31 回大会, 京都.

Hirose, N., Gondo, Y., Yasumoto, S., Saito, Y., Arai, Y., & Yasuhara, M. (2018). Clinical course of the longest lived man in the world : Case Report, GSA 2018 Annual Scientific Meeting, Boston, USA.

Kasuga, A., & Sato, S., & Takahashi, M. (2018). Exploring components of wisdom for Japanese older adults. The Asian Conference on Aging & Gerontology, Kobe, Japan.

Machida, A., Tokugawa, Y., Oba, H., & Sato, S. (2018). Increased communication to have a positive influence on QOL of facility users. 33rd International Conference of Alzheimer's Disease International, Chicago, USA.

松本 清明・権藤 恭之・神出 計・池邊 一典・増井 幸恵・石崎 達郎. (2018). 嗜好品の継続摂取が高齢者の心身の機能に与える影響に関する縦断的検討 第 13 回応用老学会, 東京.

Nakaya, M., Tokugawa, Y., Oba, H., & Sato, S. (2018). Case study meetings based on geriatric behavioral science. 33rd International Conference of Alzheimer's Disease International, Chicago, USA.

沼田 恵太郎・橋本 裕美・堀 麻祐子・権藤 恭之. (2018). 次世代への関心が高齢者の潜在的認知に与える影響——世代性プライミング課題を用いた実験的検討—— 日本発達心理学会第 29 回大会, 宮城.

- Oba,H., Fujita,Y., Tokugawa,Y., Sato,S., & Narumoto,J. (2018) . The effect of stress management program among dementia care worker. 33rd International Conference of Alzheimer's Disease International, Chicago, USA.
- 岡林 秀樹・竹村 明子・西田 裕紀子・権藤 恭之・宮川 真純. (2018) .自己調節方略のライフコース (5) ——中高年期における自己調節—— 日本発達心理学会第 29 回大会, 宮城.
- 坂井 麻里子・鈴木 則夫・三好 紀子・松本 拓也・松本 恵・三好 崇文・池田 学. (2018) . 発話の停滞を認める言語発達障害児における叙述能力の検討 第 42 回日本神経心理学会, 山形.
- Sala,G. (2018) . Leisure activity engagement and successful aging: A SEM. approach Japanese and Korean Friendship Meeting, Kobe, Japan.
- Sala,G. (2018) . Cognitive training from childhood to the old age: A second-order meta-analysis. The 16th Workshop of the Japan Cognitive Association, Osaka, Japan.
- Sala,G., & Gondo,Y. (2018) . Working memory training does not enhance older adults' cognitive skills: A meta-analysis. 35th Annual Meeting of the Japanese Cognitive Science Society, Osaka, Japan.
- 佐藤 眞一. (2018) .老年臨床心理学の可能性——研究と社会的な視点から—— 日本老年臨床心理学会設立記念大会, 東京.
- 佐藤 眞一. (2018) .10 年後の日本暮らしを考える 第 5 回福祉住環境サミット, 大阪.
- 佐藤 眞一. (2018) .老年学と死生学をつなぐ 第 60 回日本老年社会学会大会, 東京.
- 佐藤 眞一. (2018) .認知症の理解と支援——老年行動学からみた認知症—— 日本健康心理学会第 31 回大会・日本ヒューマン・ケア心理学会第 20 回大会, 京都.
- 佐藤 眞一. (2018) .主観年齢と幸福感『『いのち輝く未来社会』をめざすビジョン』推進のための「10 歳若返り」第 4 回ワークショップ, 大阪.
- 佐藤 眞一. (2018) .ライフスタイルと高齢期の脳の働き 日本心理学会第 82 回大会, 宮城.
- 佐藤 眞一. (2018) .日本の定年の過去・現在・未来 日本心理学会第 82 回大会, 宮城.
- 鈴木 則夫・翁 朋子. (2018) . 立方体模写課題 (CCT) と五角形模写課題 (PCT) の成否が乖離した認知症例の検討 第 42 回日本神経心理学会, 山形.
- 柴田 千穂・藤田 邦子・鈴木 則夫. (2018) . 形態の崩れと配置の誤りを主とした失書の 1 例 第 42 回日本神経心理学会, 山形.
- 豊島 彩・佐藤 眞一. (2018) .孤立予備軍の心理特性を予測する尺度の検討及び居住形態・婚姻関係との関連——日本語版 Preference for Solitude Scale の検討 —— 日本老年社会学会第 60 回大会, 東京.
- Toyoshima,A., & Sato,S. (2018) . The age group differences of interdependent happiness and subjective well-being in Japan. U.S. - Hong Kong 2018 Conference: Aging across Time and Contexts, Hong Kong, Hong Kong.

- 蔡 羽淳・榎藤 恭之・安元 佐織. (2018) .百寿者の主観的幸福感の関連要因についての検討 第60回老年社会科学学会, 東京.
- 蔡 羽淳・内芝 綾女・武部 桜子・豊島 彩. (2018) .感謝表出が負債感や主観的幸福感に与える影響 第82回日本心理学会, 宮城.
- Tsai, Y., & Gondo, Y. (2018) . Japan centenarian study-findings from Kyotango. ICC Meeting 2018, Blue Mountains, Australia.
- Yamamoto, M., Tokugawa, Y., Oba, H., & Sato, S. (2018) . Conversational assessment of neurocognitive dysfunction. 33rd International Conference of Alzheimer's Disease International, Chicago, USA .

#### 【その他】

- 佐藤 眞一. (2018) . 老年行動学で読み解く親の気持ち, 第三文明, 第697号, 63-65.
- 佐藤 眞一. (2018) . 高齢者の心と行動学①～高齢者の運転編～, ステーション, 第352号, 65.
- 佐藤 眞一. (2018) . 高齢者の心と行動学②～キレルお年寄り編～, ステーション, 第353号, 65.
- 佐藤 眞一. (2018) . 介護を考える—認知症が進んだ家族と会話できていますか—心理学者に聞く, 通販生活・2018年盛夏号, pp.196-197.
- 佐藤 眞一・佐藤 多門. (2018) . つらいことを乗り越え 希望を見出していく ハッピー・エイジングな生き方, DUO SCENE STORY 2018 Winter, Vo.6, 6-9.